

作りすぎない基幹刷新プロジェクト ～現場利用者を巻き込んだ要件確定～

富士通コワーコ株式会社

伊藤 茂泰

富士通コワーコ株式会社

<http://www.fujitsu.com/jp/coworco>

従業員:214名

支店:全国12拠点

クラウド型間接材調達ソリューションサービス

間接材調達業務を最適化しトータルコストダウン

オフィス用品販売

富士通の純正サプライ品

コンピュータ関連,オフィスファニチャ

文具事務用品/生活用品、防災用品 .. など

オフィスソリューション

オフィスの移転、リニューアル

自己紹介

伊藤 茂泰 (しげやす)

所属：コーポレートIT部

2つの側面

アウトソース 内製開発

1998年(入社)

インフラ担当～社内システム(情報系)
(模索～もっとうまくできるんじゃないか)

2010年

OPENTHOLOGY (Webで偶然)

正しくないシステムを
正しくつくってしまう

← **これ!**

2011年

富士通のスクラム研修を機にAgileへ

基幹の知識なし

OPENTHOLOGY <http://www.openthology.org/>

本日発表の内容

1. プロジェクトの紹介

概要、体制、スケジュール

2. 前回の失敗から学ぶ

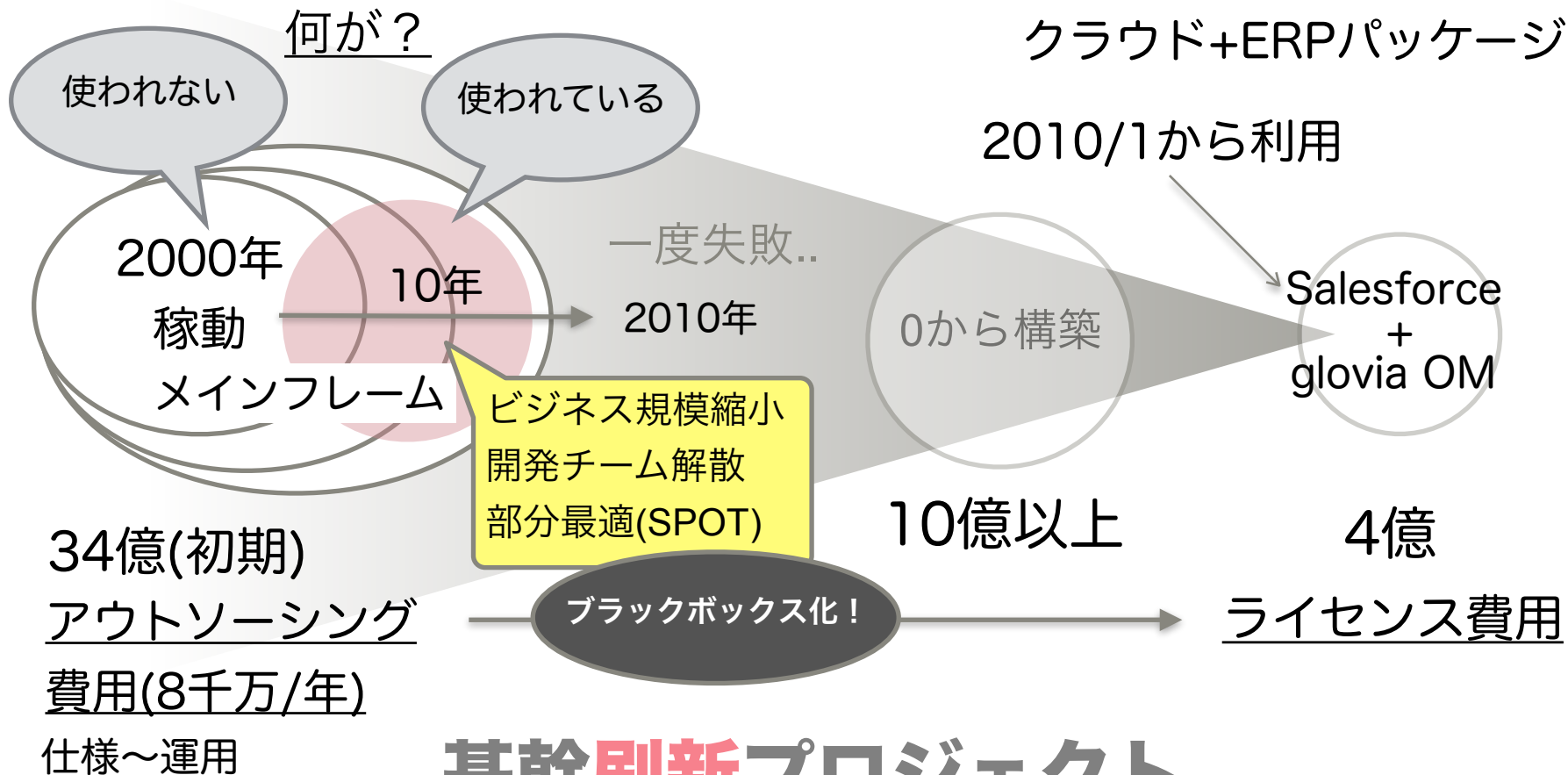
3. ありたい姿

4. 進め方

5. カイゼン

6. まとめ(ふりかえり)

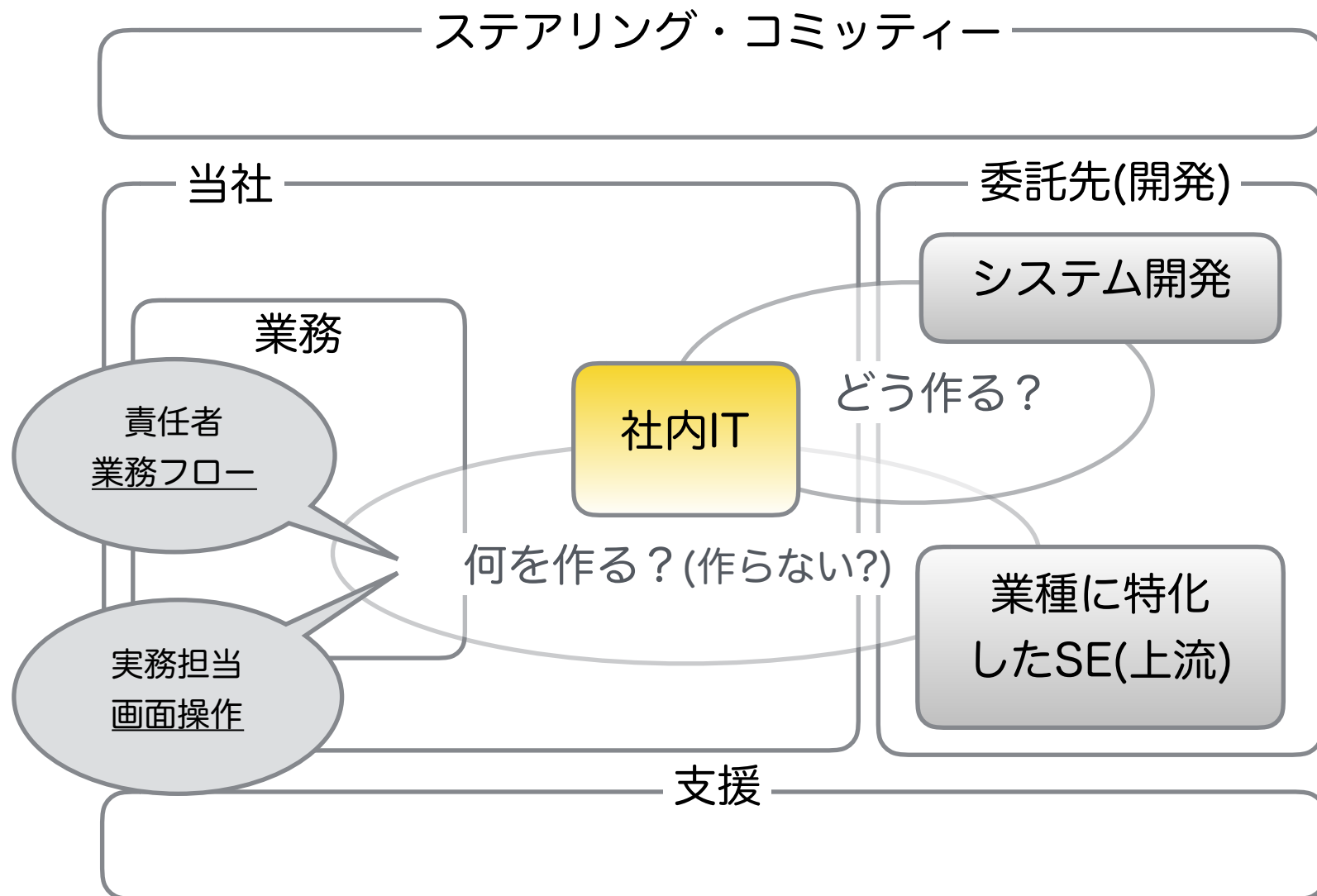
プロジェクト概要(作りすぎない?)



基幹刷新プロジェクト

刷新：弊害を取り除いて事態を全く新しくすること
ビジネス変化によって使用されなくなったもの

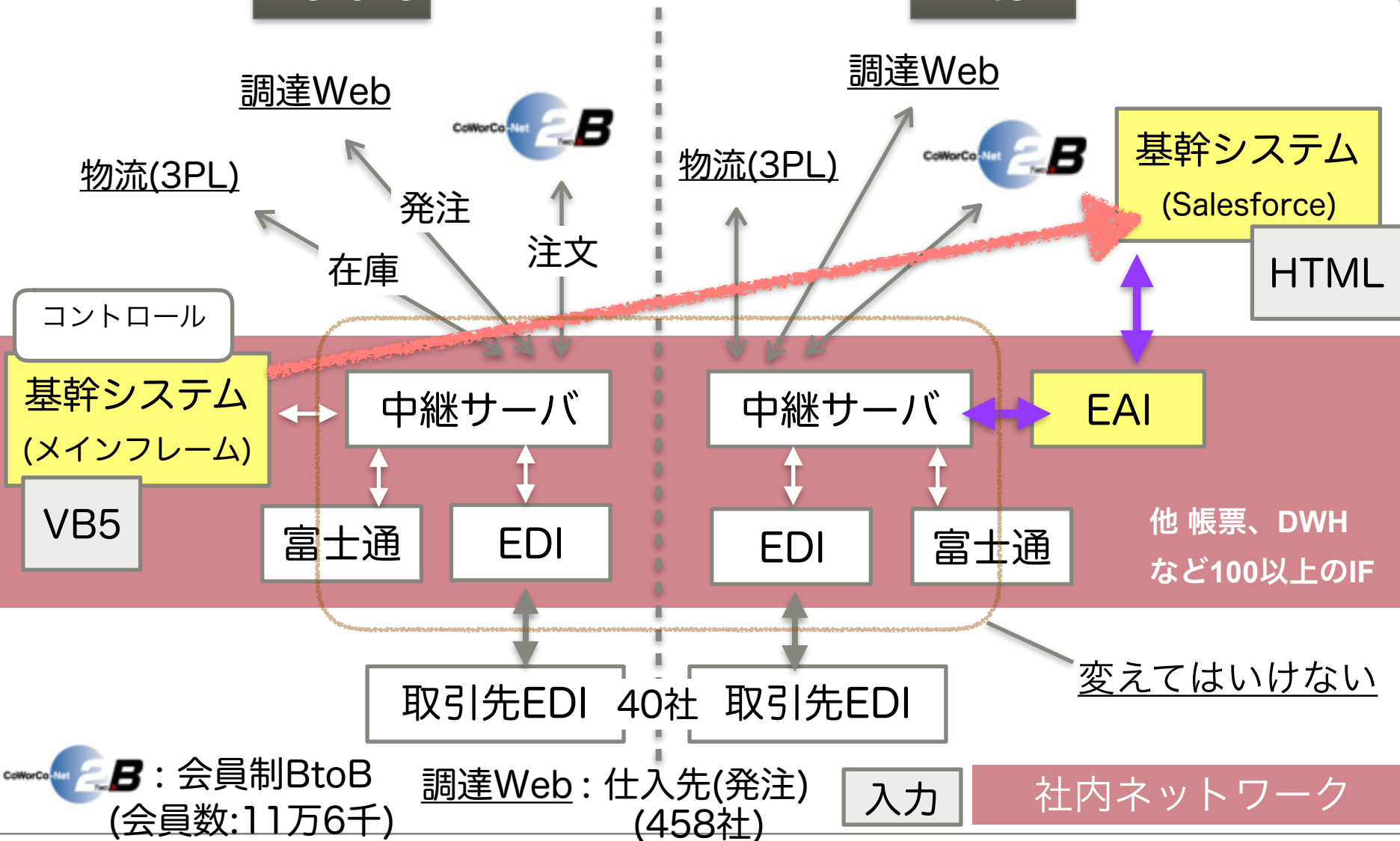
プロジェクトの体制



基幹システム概用

Before

After



プロジェクト期間

2011年1月～2013年5月



本日の発表の範囲

アジャイル開発
でいきたい！！(委託先)

プロジェクトのゴール

- 👤 新基幹システムを介して全ての取引を
継続して処理できること(最優先事項) (並行稼動NG..)

【継続して】

営業：受注照会
インサイド業務：受注エントリ
購買：発注処理ができる
営業推進：レポーティング(分析)
経理、収納：支払い、請求…
情報システム：運用監視、**外部連携**

開発：リリース→業務：スタート

前回の失敗から学ぶ

一度断念しました..

2007/3～2008/9

【状況】

- ✓ 構想が一人歩き
 - これからは〇〇の時代だ..
 - パッケージに業務を合わせる
 - ✓ 個々の報告上は問題なし
 - 動くものが見えてこない (現場担当)
 - ✓ あって当然(なきゃ困る)ものがない
- 【本番2か月前】 受注照会、マスメン..

⇒ 延期 ⇒ 中止

改善要望
殺到！！

実際に業務が動いている姿がイメージができない



カイゼンしたいこと

実際にSalesforce上で業務が動いてる
姿を**イメージ**(確信)できるようになりたい

【不安を解消したい】

情報系システムでよくあったこと

ユーザからの意見

せっかく今のに慣れているのに..

マニュアルは？



慣れる

基幹系(Salesforce)

画面：VisualBasic → HTML

1日で一番よく使う(頻度大)

操作遅延→納期遅延

本当に行けるのか？

FIT&GAPの進め方

業務に着目!

業務ヒアリング

Salesforceでいくために..

As-Is業務フロー

To-Be業務フロー

(Salesforceで実現した場合)

【アウトプット】

業務フロー

業務記述

プロトタイプ

課題管理票

-プロト修正
(業務見直し)

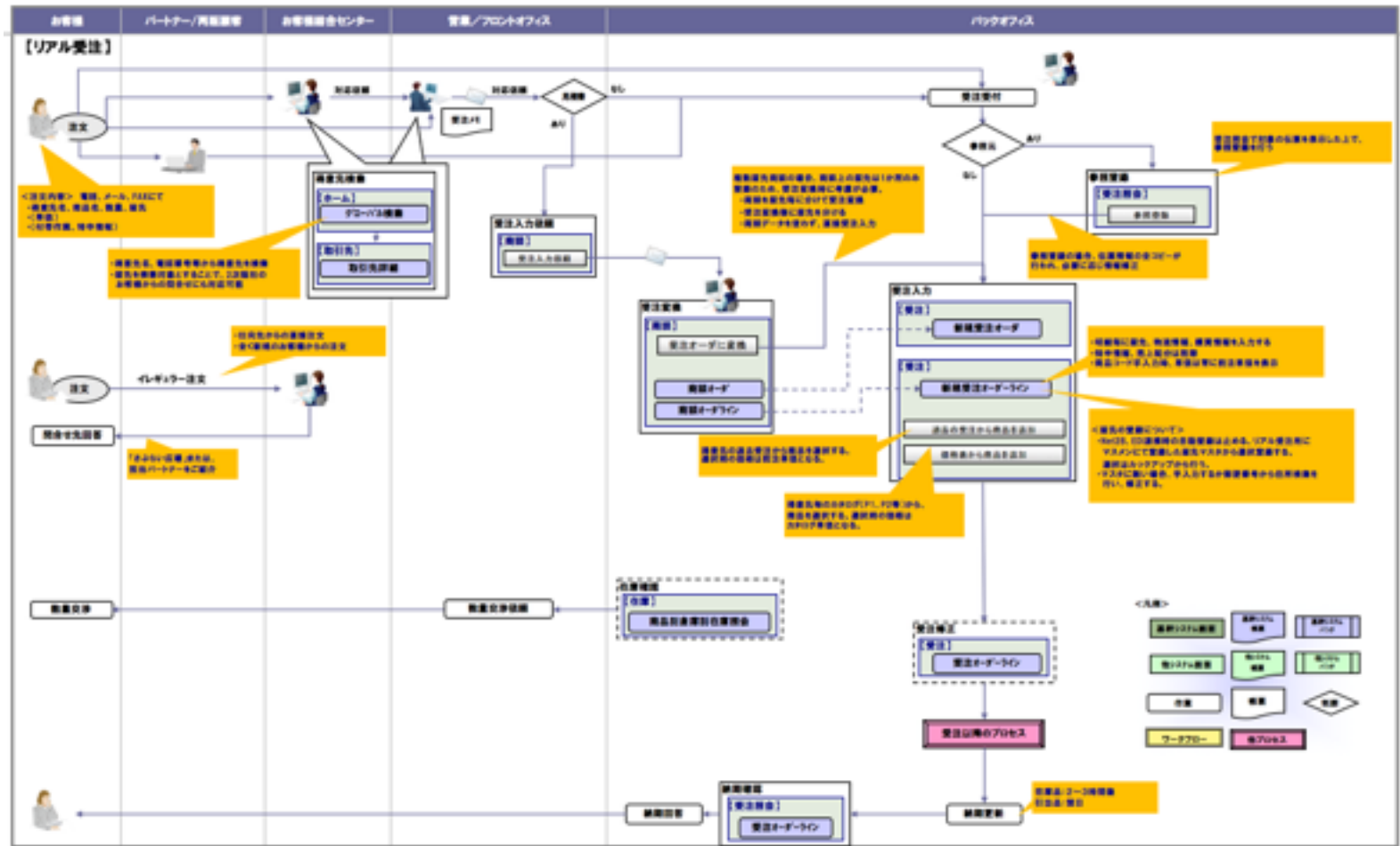
プロト作成(検証環境)

くりかえし

実際に動く画面(プロト)を見ながら
業務フローを検証、評価

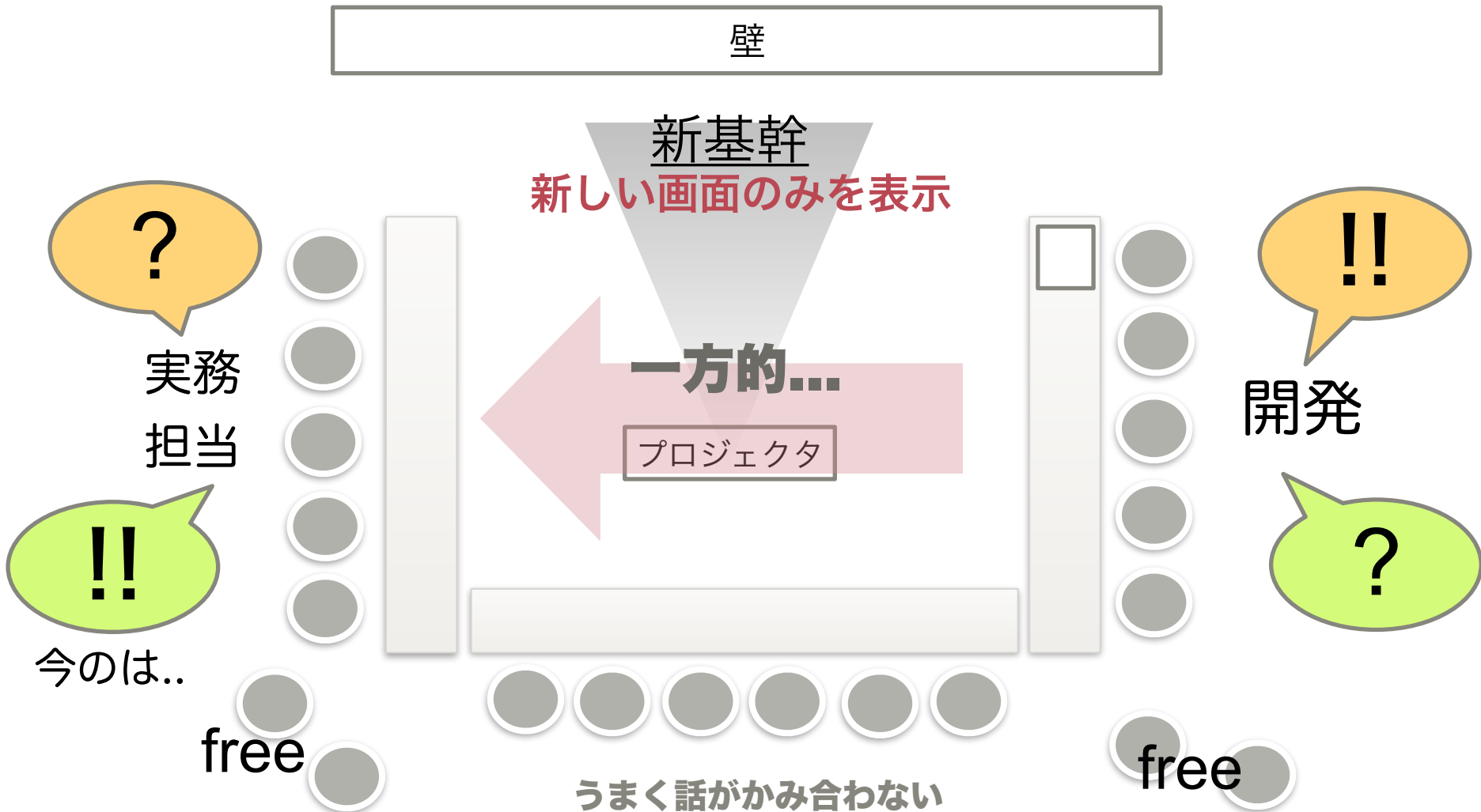
業務フロー(一部)

実際に作成した業務フロー(受注業務:To-Be)



As-Is→19フロア To-Be→27(新基幹に合わせ業務を細分化)

レビュー体系



実務側

現行基幹(VB)がベース
(Webに不慣れ..)

当社固有取引

開発側

Salesforce(Web)
がベース

一般的取引

溝を埋めるもの

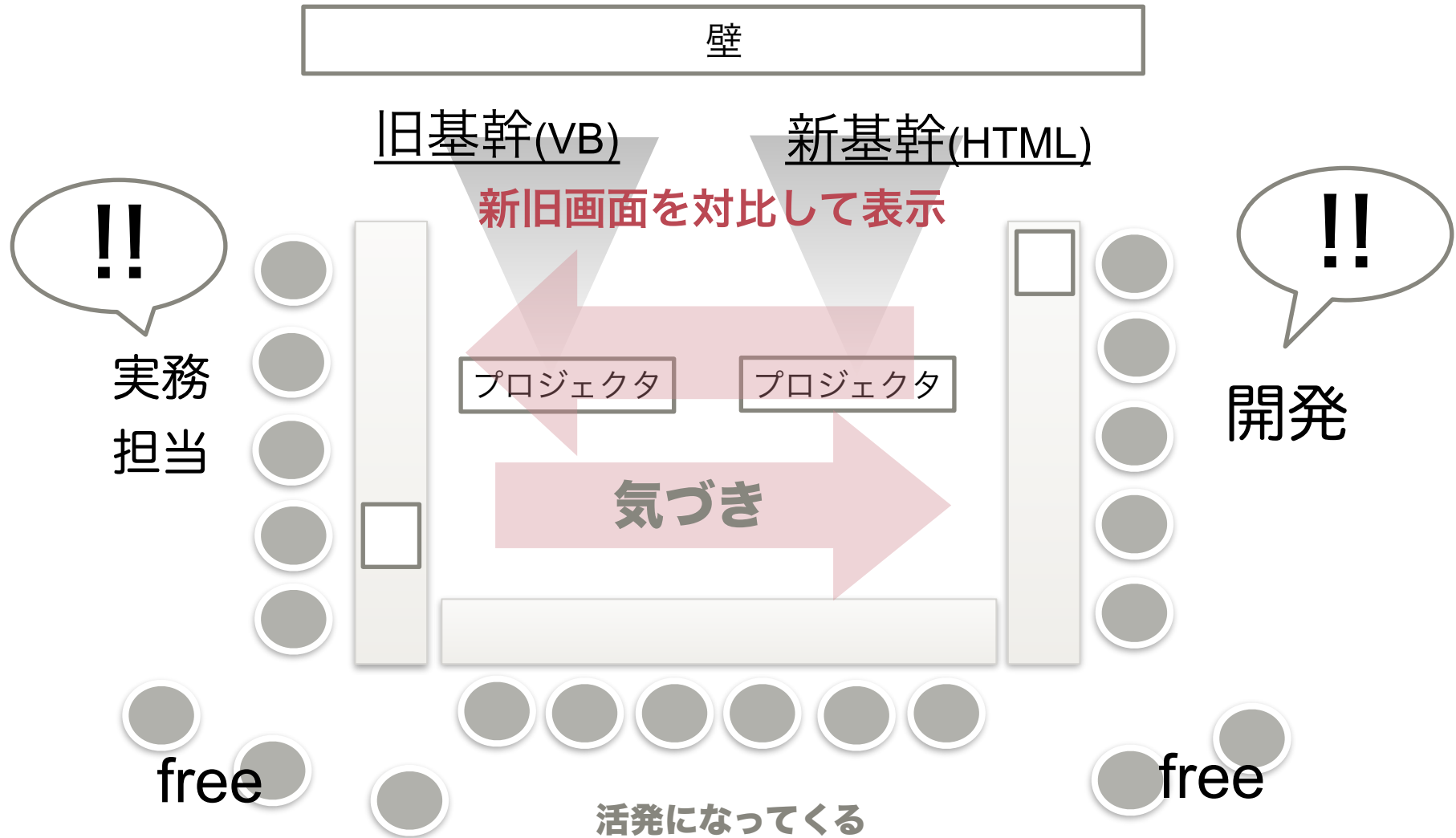
何かが..

業務フロー
(As-Is~To-Be)

プロトタイプ
(新基幹イメージ)

アクティビティ

レビュー体系・改



一画面に収めて欲しい

前の画面は F6 で..

実はこういう使い方が..

(業務担当のみ知る細かな使い方)

こういうことできませんか？

業務を継続できること

段階的なアプローチ

利用頻度、処理の複雑さ+コストによって実装を変える

	A	B	C
	Salesforce 標準画面	画面生成ツール (SkyVisualEditor)	独自開発 (Apex+Visualforce)
構築 方法	Salesforce でオブジェク トを定義する と自動生成	ドラッグ&ドロップ で画面を作成	Apex(Javaライク)と Visualforce(HTML) を使用した独自コーデ ィング
ケース	更新頻度の少な いマスタ更新な ど,(モデル検証)	単純な画面 (照会画面、エントリ)	Bで実現できない複雑 な画面やロジック
工数	小	中	大～

関係者で意識合わせ(コスト意識)

トップダウンメッセージ(周知)

優先順位づけの基準

- ・画面はSalesforceの標準画面をベースでいく
- ・属人化した個別の業務は極力なくしていく

システム都合



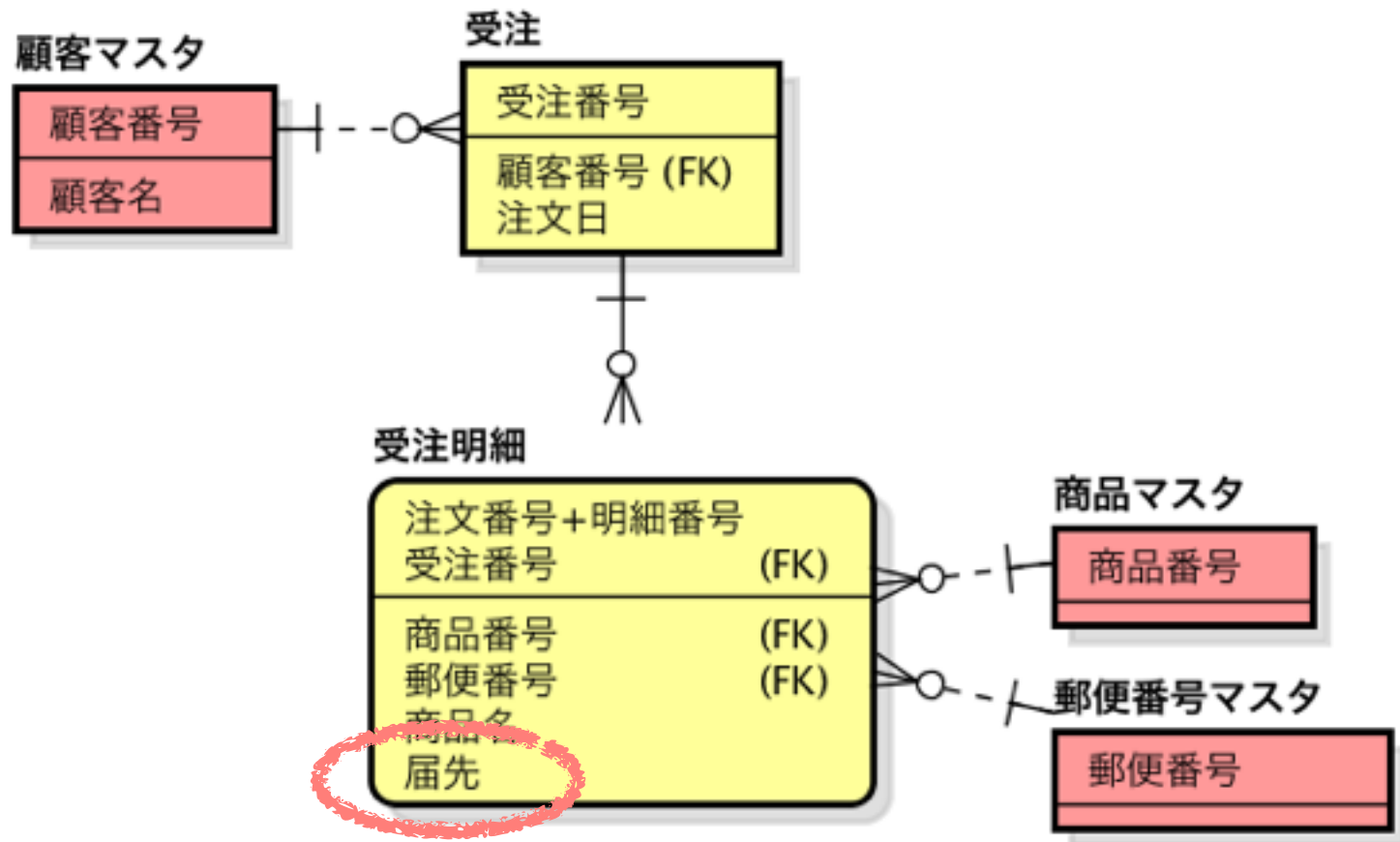
会社方針

基幹業務を継続できるか？

という、本来の観点に集中

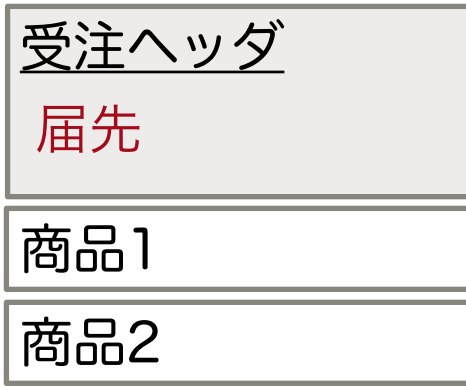
業務フローがおかしい場合は部門間で合意しながら修正

譲れないケース(モデル)



譲れないケース(実装イメージ)

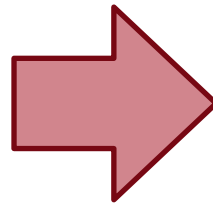
【開発】



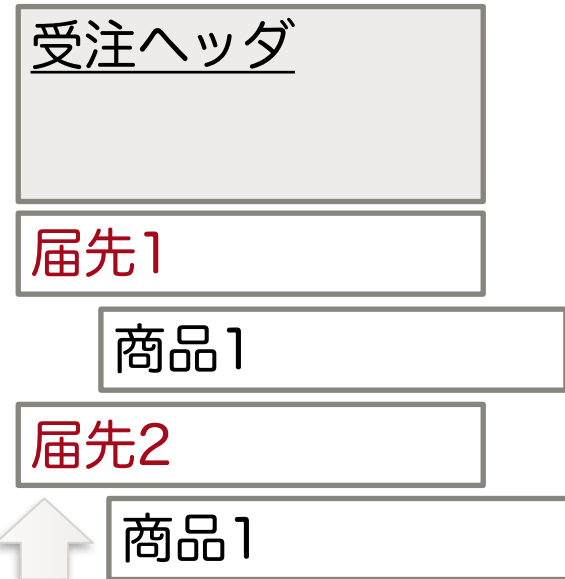
追加

- ・ シンプルに
- ・ 開発工数削減

大切なのはお互いに
議論して合意した上で
実現イメージを共有する事



【実務担当】



追加



追加

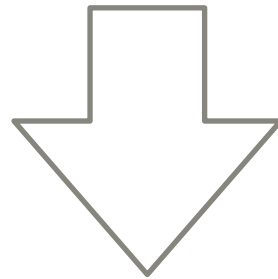
- ・ 実務背景：総務が一括発注→各事業所に配布
→ **工数増でも独自開発**

(対応しないこと：画面スクロール、Fキー)

現場担当者：日々の業務に追われている

→まとまった時間が取れない

待っていても取れない



レビュー会の時間を細かく区切り
現場担当者の空き時間で調整

これならいけそうですね！

現行システムではなく、業務を中心に検証を進める

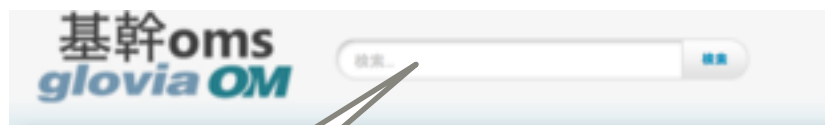
→ 開発範囲の明確化(抑制) (作るもの、作らないもの)

画面：1,156画面→150画面 (うち50画面が独自開発)

帳票： 277帳票→ 76帳票 (うち69帳票はSalesforceの標準レポート)

2013年5月稼動後、特に大きな問題なく運用できている

画面： 利用者はすぐに慣れ現在では標準機能がスタンダードに



標準で備わっていた機能が大好評
(約130あった番号帯を横断検索)

グローバル検索

【補足】

従来の 営業-アシスタント制 から基幹のフロント業務を一箇所へ集約に向かい動いていた事も助けとなった

→ 業種に特化したSE、現場担当者 を含めた検証チーム
により十分な検証を実施

現行業務に捉われない

→ 新、旧の実際に動く画面で確認しながら進めること
によりお互いの理解を深める

これから作るものへのイメージが深まる

→ トップダウンメッセージによる優先順位付けの合意

Keep

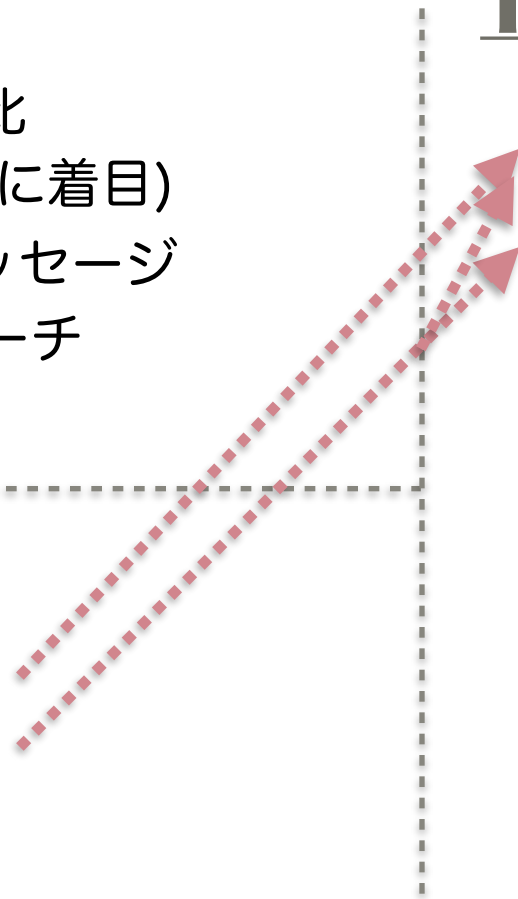
- ・ 新・旧画面の対比
- ・ 業務フロー(業務に着目)
- ・ トップダウンメッセージ
- ・ 段階的なアプローチ

Try

- ・ オンライン会議(Lync)の活用
- ・ sandbox(本番環境コピー)での
トライアル環境

Problem

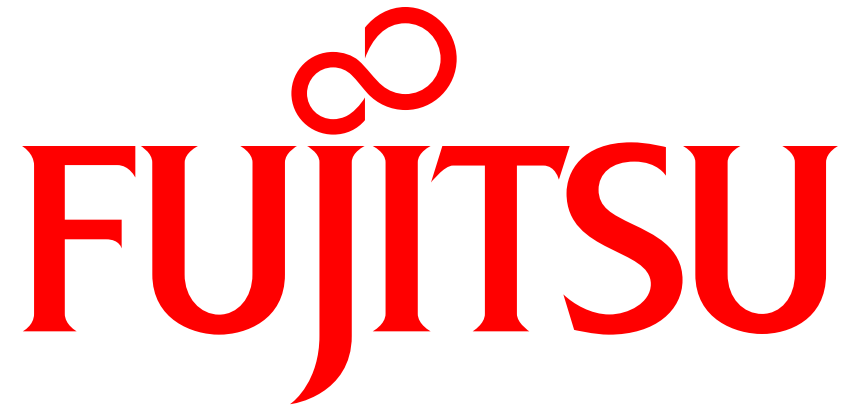
- ・ 時間調整に苦労
- ・ 導入教育不十分



【富士通が実践するグローバルコミュニケーション基盤】

<http://www.fujitsu.com/jp/services/application-services/application-development-integration/global-communication/>

ご清聴ありがとうございました



shaping tomorrow with you